

東北地方 1 か月予報

(8月16日から9月15日までの天候見通し)

平成20年8月15日
仙台管区气象台発表

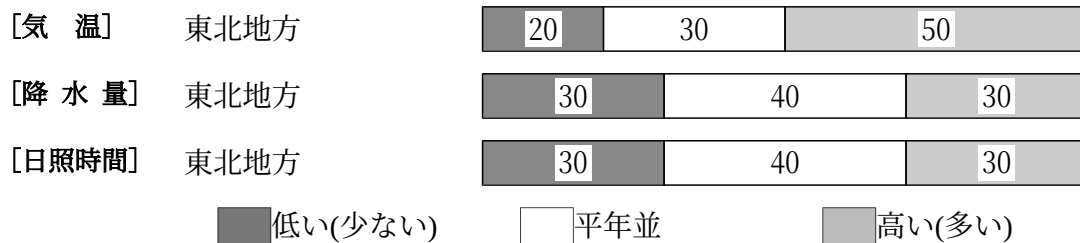
<特に注意を要する事項>

期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。

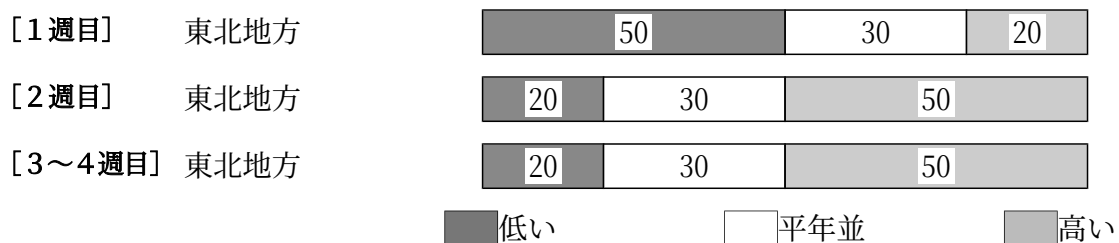
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わり、東北日本海側は平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。
向こう1か月の平均気温は、高い確率が50%です。
週別の気温は、1週目は低い確率が50%、2週目、3～4週目は高い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 8月16日(土)～9月15日(月)
1週目 : 8月16日(土)～8月22日(金)
2週目 : 8月23日(土)～8月29日(金)
3～4週目 : 8月30日(土)～9月12日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月22日
3か月予報：8月25日(月) 14時

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (℃)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(℃)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	21.4	138.6	174.8	22.9	22.2	20.7
深浦	21.5	178.6	170.8	23.1	22.4	20.8
むつ	20.2	171.6	142.0	21.5	21.0	19.6
八戸	20.9	177.7	153.0	22.2	21.6	20.3
秋田	22.7	198.2	180.5	24.6	23.7	21.9
盛岡	21.3	188.0	136.6	23.2	22.3	20.4
大船渡	21.6	229.1	134.8	23.0	22.4	21.0
宮古	20.9	214.0	139.7	22.2	21.7	20.2
仙台	22.7	201.1	133.1	24.0	23.5	22.1
石巻	22.2	152.3	153.0	23.5	23.0	21.6
山形	22.7	153.2	157.1	24.6	23.8	21.9
新庄	22.0	170.1	145.0	23.9	23.1	21.2
酒田	23.2	199.7	182.5	25.0	24.1	22.4
福島	23.5	161.9	134.2	25.1	24.5	22.8
若松	23.0	134.7	166.6	24.8	24.1	22.2
白河	21.8	247.3	133.1	23.2	22.7	21.1
小名浜	23.2	171.4	168.5	24.1	23.9	22.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3～+0.4	81～118	92～107
東北日本海側	-0.4～+0.6	83～110	91～107
東北太平洋側	-0.3～+0.4	77～120	89～109

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.8	-0.6～+0.7	-0.5～+0.8
東北日本海側	-0.6～+0.8	-0.6～+0.7	-0.6～+0.7
東北太平洋側	-0.6～+0.9	-0.5～+0.8	-0.5～+0.8

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 20 年 8 月 15 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (8 月 16 日～9 月 15 日) :

天気は数日の周期で変わり、東北日本海側は平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は高い確率が 50% です。

なお、期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。

1 週目 (8 月 16 日～8 月 22 日) :

気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多いですが、期間のはじめは、東北北部を中心に高気圧におおわれて晴れる日があるでしょう。

平均気温は低い確率が 50% です。

2 週目 (8 月 23 日～8 月 29 日) :

高気圧におおわれて、東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は高い確率が 50% です。

3～4 週目 (8 月 30 日～9 月 12 日) :

天気は数日の周期で変わり、東北地方は平年に比べて曇りや雨の日が少ない見込みです。

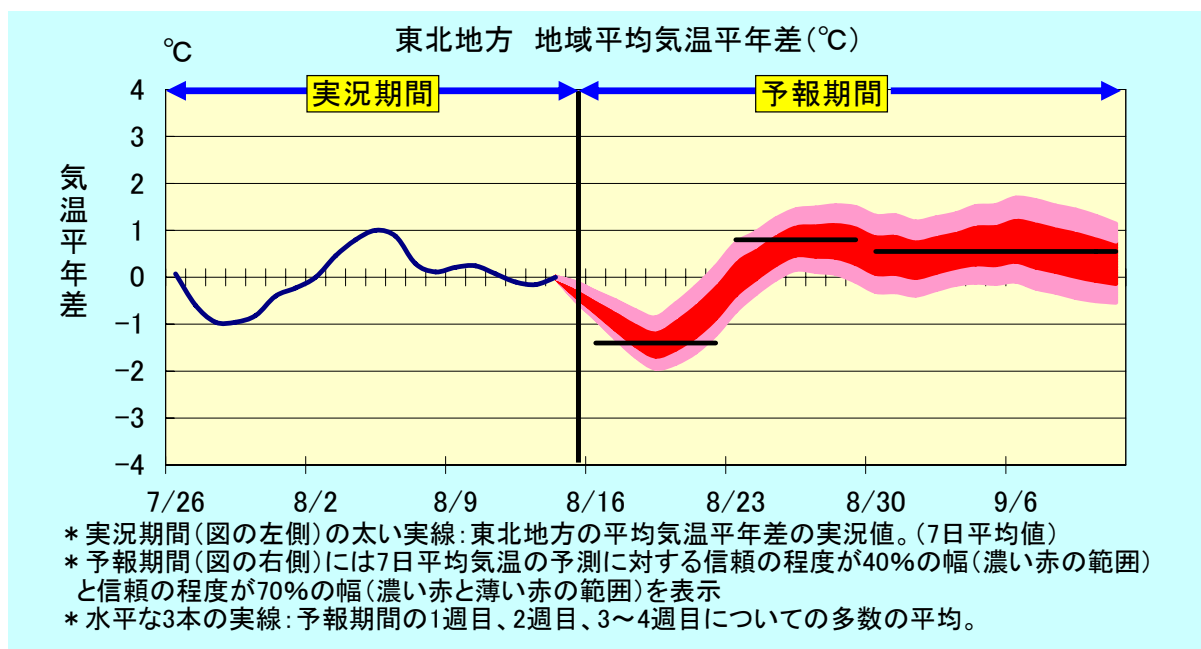
平均気温は高い確率が 50% です。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	14.8 日	4.0 日	3.9 日	6.9 日
東北太平洋側	12.7 日	3.4 日	3.5 日	5.8 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目は平年を下回り、2 週目は平年を上回り、3～4 週目は平年付近の予想となっている。予報はその他の資料から 3～4 週目を高めに考える。

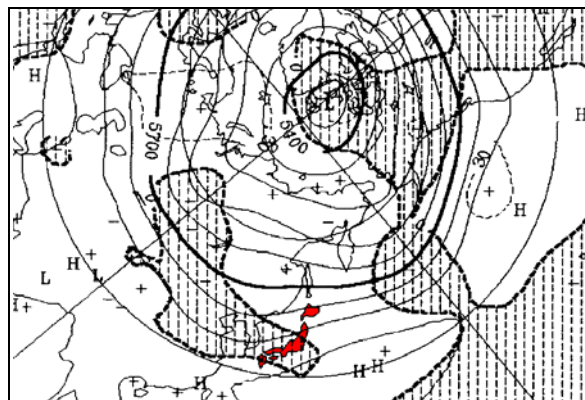


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

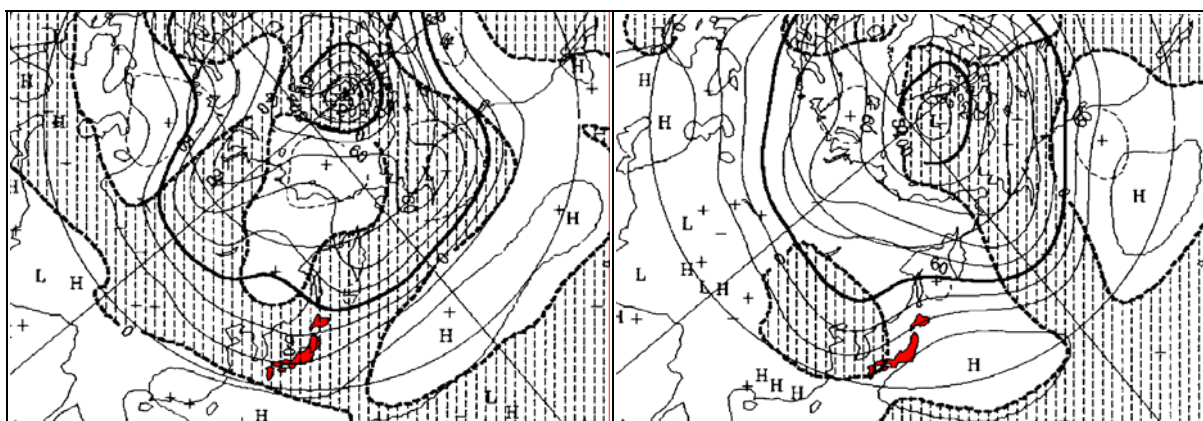
1か月平均: 東北北部は正偏差。東南北部以南の日本付近はモンゴル付近まで東西に続く負偏差となっているが、日本の南東海上には高気圧が張り出し、気温の高い日が多い見込み。

1週目: 日本付近は大陸の中緯度からアリューシャン、アラスカまで続く負偏差におおわれ、日本の南の高気圧は日本からやや離れる。また大陸の高緯度にはヨーロッパからの波列が見え、バイカル湖の東は正偏差で、寒気が南下しやすく日本付近は低温傾向となる見込み。

2週目: 中国東北区は負偏差で、九州、中国地方まで負偏差となるが、日本付近はほぼ正偏差。日本の南東海上の高気圧は強まり、高温傾向となる見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし年平均差の間隔は 30m 毎)

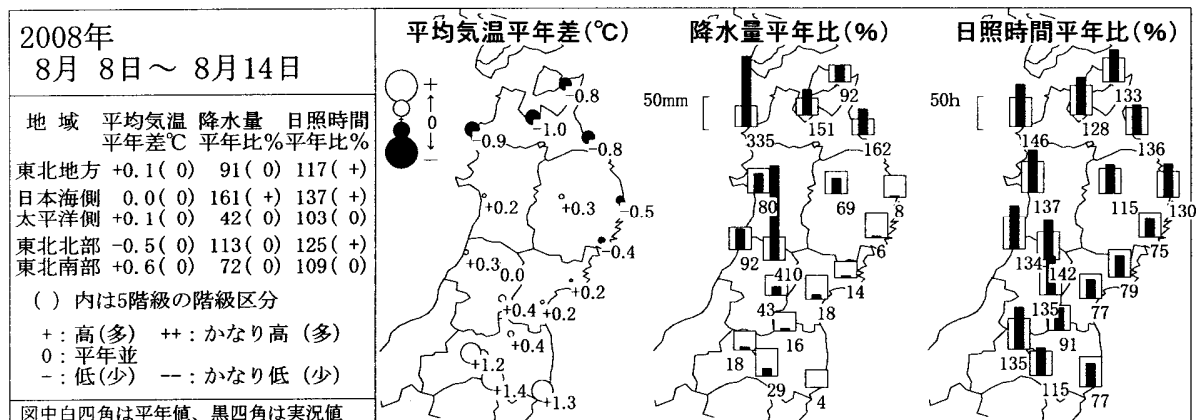


1週目平均 500hPa 予想天気図 2週目平均 500hPa 予想天気図
実線は、等高線（間隔 60m）、点線は、年平均差（間隔 60m）
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（8月8日～8月14日）の天候の経過

この期間、北から高気圧におおわれて、東北北部を中心に晴れのところが多かったが、14日には前線を伴った低気圧が東北地方を通過したため東北日本海側を中心に雨となり、青森県や山形県で大雨となったところもあった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）